

# 令和6年第1回臨時教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年7月31日(水)  
午後1時25分～午後3時50分
2. 開催場所 柏原市役所 2階 多目的室2-1、2-2
3. 出席した委員  
教 育 長 新 子 寿 一  
教育長職務代理 田 中 保 和  
委 員 近 藤 温 子  
委 員 西 村 弥 生 子  
委 員 太 田 貴 之
4. 出席した職員  
教 育 部 長 桐 藤 英 樹  
教 育 監 安 田 典 子  
指 導 課 長 小 室 吉 昭  
指 導 主 事 菰 池 孝 彰  
指 導 主 事 川 畑 雄  
指 導 主 事 野 本 秀 徳  
指 導 主 事 柏 山 和 之  
指 導 主 事 西 村 あ す か  
事務局教育総務課 塩 谷 行 由
5. 議事案件  
議案第19号 令和7年度柏原市立中学校使用教科用図書の採択について  
(継続審議)

## 6. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：それでは、少し早いですが、皆様お揃いでございますので、令和6年第1回臨時教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、太田委員にお願いいたします。早速ですが、議事に入ってまいります。

先週24日、定例教育委員会の折に、令和7年度からの中学校の教科書の採択、約半分終わらせていただきましたが、引き続き、今日は4教科8種目を採択してまいりたいと思います。忌憚のないご意見をいただきまして、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。それでは、教科書採択につきましては委員及び事務局の方で進めてまいりたいと思いますので、職員の入替えをさせていただきたいと思っております。

(出席職員入れ替え)

新子教育長：まずは公民の方でございます。菰池指導主事よろしくお願いたします。

菰池指導主事：それでは、社会（公民的分野）について説明いたします。社会科（公民的分野）につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」のうちの「内容の程度」についてです。東京書籍8、9ページをご覧ください。部会からは「第1章第1節に中学生が社会参画している事例が取り上げられており、わが国の伝統や文化に対する理解と愛情を深めることができる内容である」という意見があります。

教育出版34、35ページをご覧ください。調査員からは「随所に特設ページやコラムなどを掲載し、学習した内容を広げたり、深めたりすることができる」という報告が上がっています。

次に「目標、内容の取扱い」のうちの「組織・配列」についてです。日本文教出版40、41ページをご覧ください。部会からは「1回の授業時間を見開き2ページとし、この中で『学習課題』の明示、最後には『確認』が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能を定着できる内容になっている」という意見があります。

帝国書院122から125ページをご覧ください。部会からは「教科書の本文の見開きの2ページは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注のレイアウトがほぼ固定化されている」という意見があります。

次に「目標、内容の取扱い」のうちの「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には、6者とも「すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている」と書かれています。

東京書籍74、75ページをご覧ください。調査員からは「『もっと知りたい』では、アイヌ民族をメインに、イヌイトやアボリジニなどの先住民族に焦点をあて、権利の保障について取り上げている」という報告が上がっています。

育鵬社72、73ページをご覧ください。調査員からは「72、73ページの『学習を深めよう』では、世界の人権問題として、黒人差別、チベット問題・ウイグル問題、

アフリカにおける内線での虐殺や少年兵など、キング牧師やマンデラ、ダライ・ラマ14世などの活躍も含め、具体的に記載されている」という主旨の報告が上がっています。

次に「学び方の工夫」についてです。帝国書院42、43ページをご覧ください。調査員からは『アクティブ公民』で、生徒たちが今後直面するであろう課題の解決に向け、論理的説明や合意形成を目指す理論ができるように工夫されている」という報告が上がっています。

自由社90、91、94、95ページをご覧ください。学校からは『もっと知りたい』『アクティブに深めよう』ではより深く学ぶことができる」という意見があります。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。日本文教出版126、127ページをご覧ください。調査員からは「章末に必ずまとめと振り返りが用意されている。生徒達がグループで話し合う手順や発展的な課題が示されており、知識を確認するだけでなく、学習した内容をふまえて思考、探究できるよう工夫されている」という報告が上がっています。

東京書籍170ページ左下をご覧ください。部会からは「情報量として過不足なく、つまづきやすい事項に関しては『用語解説』での補足があるので定着に役立つようになっている」という意見があります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。帝国書院181、184ページをご覧ください。部会からは「各章の扉には、小学校で学習した関連内容を確認することができ、地理・歴史で学んだものと関連する場合は見開きで確認できるように構成されている」という意見があります。

教育出版78、79ページをご覧ください。調査員からは『持続可能な社会の実現に向けて』という表題を多く用いており、中学生にとっては小学校までの学習とのつながりが感じられる仕組みとなっている」という報告が上がっています。

最後に選定委員会の審議内容について報告いたします。教育出版については、レイアウトに統一感があるという意見がありました。また、教育出版、東京書籍については、絵だけでなくデータ、数字から考えさせる内容も多く、資料と結び付けて学びを深める点に課題のある柏原の子どもたちの現状に正対しているのではないかという意見が上がりました。帝国書院については、比較的新しいデータが掲載されていることについて意見が上がっておりました。以上で社会（公民的分野）についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。今事務局の方から6者についての説明がございましたが、ご意見等ございましたらお願いします。田中委員お願いします。

田中委員：今の説明にもあったんですけども、教科書を見た時に絵とか資料とかデータとかですね、そういったものが豊富で使いやすい、生徒にとって見やすいのが東書と教出かなというふうに思います。

それぞれ比較してみますと、それぞれどちらも色んな工夫がされているんですけども、東書の方が「もっと知りたい」とか「みんなでチャレンジ」とか、あるいはまとめ活動の中での振り返ろうとか深めようとか、そういう段階的な色んな項目を作って学習意欲を高めて理解しやすくしているかなと思います。また、ページ下段のチェック・トライ

の欄を設けて、学びを復習しやすい、そういったところがあるので、やや東書の方がいいかと思います。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：帝国書院は学習の前にとして、比べてみようとか、さがしてみようのイラストがあります。身の回りの詳細な場面のイラストからは、多くのことが読み取ることができて、関心が高まります。

教育出版。今広がろうとしている技術や事象の紹介が多く、現代に即した内容になっています。社会への関心に繋がっていきそうです。コラム「公民の窓」は学習から一步踏み込んだ内容で、視野が広がりそうです。ページ105の「公民の窓」は小さな政府と大きな政府の図がわかりやすいです。説明でもあった持続可能な社会に向けては、米軍基地、契約、外交等難しいテーマが多いですが、丁寧に説明されています。子どもたちに知っておいて欲しい中身です。

東京出版。18歳へのステップとして、社会の一員になるため必要なことがわかりやすく説明されているページがいくつかありました。

日本文教出版。学習のはじめにのページが漫画での表現で、どんな学習に入っていくのかよくわかります。出てくるキャラクターの表情が豊かなのも、課題をわかりやすくしてくれるし、楽しいです。点字に触れられる工夫があるページもありました。

以上の4つが候補ですが、中でも将来を見据えて作られていると感じる教育出版が良さそうだなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いいたします。

西村委員：教育出版ですが、先程からあがっていますように、持続可能な社会に向けてのコラムで人権、平和、メディアリテラシー、障がいの社会モデル等、現代社会に即した課題を具体的に指し示しているなと感じました。各節に学習課題が明確に挙げられていて、何を学ばばいいかがってというのが割とわかりやすいなと感じました。

東京書籍は同じように第1章で現代社会とわたしたちっていうところで問題提起を大きくして、公民っていう教科が何を学ぶかってところが、これもわかりやすく示してありました。導入の活動で、例えばコンビニの経営者になってみよう、最終的にはコンビニの企画を考える等と発展的な内容があって、自分たちで思考しながら現代社会に向けて、身近な話題から考えていくということ、流れは非常に取り組みやすいし、効果的かなというふうに感じました。

帝国書院は、これも全体的によくまとまっていて、学習の前にイラストを見ながら最後に考えて最後にふりかえるという流れであるとか、アクティブ公民では立ち退きについて等身近にある問題を考えさせてくれました。

日文は先程ありましたように漫画でわかりやすく興味を誘う内容もありましたし、まとめとふりかえりが明確にされていました。

自由社・育鵬社もそれぞれ知識を深めようという点で、非常に読み物としても役に立つ分もありましたが、全体的な、先程もありましたが公民で何を学ぶかというところで、流れが明確でわかりやすいという点と、現代社会に即して絵やイラストの中から考えて

いくというところから、教育出版か東京書籍がいいかなと私は思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：今もお話出ましたけども、自分たちの生活が政治や経済にどのように結びついているか、そこをしっかりと学べる、自分たちが市民の一員である、そういう自覚が持てる、それを少しでも手助けできる教科書がいいなと思って見させていただきました。

育鵬社、憲法のしくみ等については、随分詳しく載っているなと思って見させていただきました。

日本文教出版については情報化とかメディアリテラシーの部分がちょっと他の教科書よりは少ないのかなという印象を受けました。

帝国書院ですけども、これも先程出ましたけども、アクティブという欄で話し合いの見方や考え方、これを学ぶことができるというふうに思いました。そのため、よりより社会のため自分たちがどう考えたらいいかっていうようなことを学べるということだと思います。人権作文の件が出ましたけども、帝国書院の52ページでしたかね、人権作文が載ってるんですけども、もちろん賞をとった文章なので非常に良いんですけども、お母さんの発言で〇〇さんは目はよく見えないけれど、他の人と何も変わらないよっていう文章が作文に出てくるんですけども、他の人と何も変わらないのかなっていう、目が見えないってというのは他の人とは違うので、そこを受け入れるんじゃないかなっていう、この意図・文章の取り方だと思うんですけども、ちょっと私自身は違和感をこれには感じました。違っていることを、違いを受け入れるっていうことが大切なんじゃないかなというふうに思いました。

東京出版ですけども、38ページなんかはちがいのちがいていうところで、判断が難しく、考えさせる内容になってるなど、少し難しいようなテーマも入れられてるなどというのは感じました。それは他の教科書も一緒なんですけども。あと、人権のところでも部落差別や在日韓国・朝鮮人のところもしっかり記載されていますし、ただ、これも捉え方なんですけども50ページに山田少年の訴えってというのが東京書籍にあるんですけども、水平社宣言の時の山田少年の訴えの文章はもっと長い文章だと思うんですけども、部分要約のところ、こういう要約の仕方を色々するんだと思うんですけど、差別受けてきたって山田少年が立ち上がってって、もっと強い前向きな気持ちになるって、全体とおしたらそういう文章だと思うんですけども、要約すると役人とか教員の批判、ネガティブな印象をちょっと捉えられるかなと、それだったら水平社宣言の時のもうちょっと差別に打ち勝とうという力強い前向きな文章でも良かったのかなというの思いました。

あと教育出版ですけども、メディアリテラシー等についても詳しく載っていますし、ハンセン病やLGBTについて、それから部落差別の中では識字学級についての内容もあって、より深く学べるなというふうに思いました。選挙権の年齢引下げに関する内容は、ちょっと他の教科書より少ないのかなというふうに思います。あとやはり教育出版、二次元コードがちょっと少ないのかなと、それだったら水平社宣言の時のもうちょっと差別に打ち勝とうという力強い前向きな文章でも良かったのかなというの思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。ご意見ありがとうございます。みなさんの方からは、東京書籍、教育出版というところから出ておりますけども、教育出版の方は絵や資料からの読み取りであったり、持続可能な社会の実現に向けて等比較的なみなさんの方からは肯定的なご意見が多かったように思います。教育出版の方でと私は思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。それでは教育出版といたします。続きまして地理の方に移ります。菰池指導主事よろしくお願ひします。

菰池指導主事：それでは、社会（地理的分野）について説明いたします。社会（地理的分野）につきましても、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」のうちの「内容の程度」についてです。大阪府の選定資料には、4者とも「写真、挿絵、図、表などの資料について、見やすく、比較しやすいよう配置し、生徒の興味・関心を引き出すとともに、効果的に学習できる内容になっている。」と書かれています。

教育出版174、175ページをご覧ください。調査員からは「どの単元においても網羅的に内容が記載されており、幅広い知識の習得がしやすい内容となっている」という報告が上がっています。

次に「目標、内容の取扱い」のうちの「組織・配列」についてです。東京書籍80ページをご覧ください。学校からは「導入の活動、学習課題の提示、本文で課題の追求や解決、振り返りの活動と、分かりやすい配列である」という意見があります。

日本文教出版60、61ページをご覧ください。学校からは「節や章のまとめでは生徒が段階を踏んで考えられる工夫がなされている。」という意見があります。

次に「目標、内容の取扱い」のうちの「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には、4者とも「世界の多様な文化の尊重について、理解できるよう適切に取り扱われている」と書かれています。

教育出版87ページをご覧ください。学校からは「コラム『地理の窓』として、多数のページに環境問題や、民族紛争、人種差別、格差問題など、現代にみられる様々な社会問題について記載されている」という意見があります。

次に「学び方の工夫」についてです。東京書籍82ページをご覧ください。調査員からは「動画の配信や統計など多様な学習ツールが掲載されたQRコンテンツがある」という報告が上がっています。

帝国書院49ページをご覧ください。調査員からは「同出版社の発行している地図帳と親和性が高く、図や資料が共通していたり、教科書の補助的な資料が地図帳で示されているなど、相互に活用しながら学びを深めていけるようになっている」という報告が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。日本文教出版145ページをご覧ください。調査員からは「全ての節の導入に使用できるイントロダクションムービー

や確認小テスト、学習活動の記録ができるポートフォリオなど多彩な教材がQRコンテンツとして用意されている」という報告が上がっています。

帝国書院214、215ページをご覧ください。学校からは「単元末にアクティブラーニングやパフォーマンス課題が設定されており、対話的な学びの題材が豊富に用意されている」という意見があります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。東京書籍183ページをご覧ください。調査員からは「各章初めに『小学校の社会で習ったことば』という項目が設けられている」という報告が上がっています。帝国書院144ページをご覧ください。調査員からは「各ページの左下に小学校や他分野、他教科との関連性が明示されている」という報告が上がっています。

最後に選定委員会での審議内容について報告いたします。選定委員会では、地理を学習するにあたって、地図帳との親和性は重要であるという意見が上がりました。帝国書院については、掲載されている写真が大きく、関連事項の記載もあるので、後々ふりかえって勉強する時に役に立つという意見が上がりました。また、NHK for schoolにある動画にもアクセスできるという意見がありました。東京書籍については、用語解説で確認ができることや、配列が学びやすくなっていることが意見として上がっていました。以上で社会（地理的分野）についての説明を終わります。

新子教育長：はい、ありがとうございます。田中委員お願いします。

田中委員：先程の説明にもあったんですけども、地図帳との関係というのはやはり地理に関しては重要かと思えます。そうすると、東京書籍と帝国の2者が出しておられ、それは選定は後になるんですけども、その中で内容的にもどちらもわかりやすいですけども、東京書籍の方はもっと知りたいとか未来にアクセスとか、それからまとめの活動なんかに興味づけられる、理解しやすい様子になっているかなと思います。

帝国の方はかなり単元あるいは本文中でも見直し学習とかふり返りでは、章末学習を振り返ろう、技能の見方等、それぞれの工夫をされてて、東書と比べると帝国の方が学習しやすいかなと、地図の方も今ここで判定じゃないんですけども使いやすいので上手く進められるんじゃないかと思えます。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：日本文教出版。世界・日本の各地域はじめにある地形、人口密度地図や気候のグラフが同じ配置なのがわかりやすいです。地理+αでは現代の課題が多く紹介されています。ニュースになっていたりして関心が違ってきます。

東京書籍。世界の人々の生活と環境が充実しています。現地の人の話やもっと知りたいの読み物では興味が湧き、理解を深めてくれると感じます。

帝国書院。地図が、地形の特徴がわかりやすいです。歴史や文化的背景の記述が多く、産業や地域の課題をより深く理解できそうです。内容に応じてコラム未来に向けてがたくさんあります。内容が前向きなところがいいです。資料に年代や季節の見比べ写真が多く、視覚的にわかりやすくなっています。第4部地域のあり方では神戸が取り上げられています。行ったことがある子も多いでしょう。授業では色んな意見が出そうです。

以上の3者がふさわしいのではないかと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：東京書籍ですが、社会科の教科書全般的にページが統一されていて、導入からまとめ、あと資料から発見、もっと知りたい等、理解しやすく配列されていると思いましたし、ページ内にコラムが充実していて、いろんな事項が、社会の公民とか他の歴史等も確認できると思いました。

帝国はふり返りをしながら学んでいく中で、写真で眺める〇〇というページがとても多くて、国々のいろんなイメージが立ちやすくて、とても大きな写真ですけども情報量がたくさんあるなと感じました。未来に向けて、例えば地球温暖化のことであるとかグローバルな話題である一方で、日本の諸地域の勉強が後半出てくるんですけども、それも様々な事柄と関連付けて、勉強させてくれてるなと感じました。

この日本の諸地域という点では、帝国は例えば近畿は環境の保全をテーマにしていたりとか、東京書籍は都市と農業っていうことが注目する視点挙がっていたのですが、教育出版は近畿は歴史的観点から、日文さんの方も歴史的背景と人々の生活という点から挙がっていて、どちらかと言うと、帝国書院と東京書籍のような、歴史的な環境ではあるけれどもそこから見える問題のもう少し具体性が持って学べるのは帝国と東京書籍ではないかと感じました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員よろしくお願いします。

太田委員：地理の教科書ですので、地図は別にあるんですけども、地図の見やすさなんかが大切かなと思いつつながら見させていただきました。

東京書籍さんは色づかいがきれいで、写真や図は全体的に見やすく配列されているなと感じましたし、まとめの活動で探究のステップがあり、さらに読解力を深めるような構成になっているなと感じました。

帝国書院さんですけども、近畿地方の地図等を他の教科書と比較してみても、地図が他者さんよりは帝国書院さんの方が見やすいかなと思います。特産物等についても写真やイラストでわかりやすく示されているなど。全体的に帝国書院さんも色づかいがきれいで写真や図を見やすく配列されているなと感じました。日本文教出版さんですけども、同じフォントのサイズだと思うんですけども、目次の文字が少し見にくいなという印象を受けました。あと、確認、表現の欄があって、自分で学べるようになっているんですけども、他の教科書も同じようなことなんですけども、確認、表現で色々課題を出されて、それに取組めない生徒っていうのは中々自分では思い浮かばないなと思いつつながらこれを見せていただきました。

教育出版さんは他者よりも地図が少し見にくいかなと。あと二次元コードが少ない。地理の窓なんかで社会問題も取り扱われているのはいいなと感じました。クロスロードというのがあちこちに出てくるんですが、クロスロードやまとめの文章、教育出版さんは少し文字が小さくて読みにくいなという印象を受けました。帝国書院さんがいいのかなと感じました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。皆様からは帝国、東書2者っていうことであ

がっておりますが、地図と、地理的な教科書の中の地図も非常に見やすいと帝国さんの方は。ということで迷うんですが、帝国でよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。続いて地図の方でございます。川畑指導主事よろしくをお願いします。

川畑指導主事：それでは、地図について説明いたします。地図につきましては、東京書籍と帝国書院の2者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」の「内容の程度」についてです。大阪府の選定資料によると、2者とも世界地図と世界に関する図表や写真、グラフ等のページ数にほとんど差はありませんが、日本に関する図表・写真・グラフ等のページは、東京書籍が39ページ、帝国書院が51ページと取り扱うページ数に違いが見られます。これに関して学校からは帝国書院について「統計資料や分布図などの資料が豊富に用意されている」という意見が上がっています。

内容の特長としましては、帝国書院は「防災・安全を中核とした考察」を扱うページが16ページあります。例として帝国書院159ページから162ページをご覧ください。調査員からは「自然災害・防災の内容が充実していて、防災教育に役立てることができる」という報告があがっています。

また帝国書院はSDGsに関する取扱いが多く、8ページ～14ページに渡って特集が組まれています。調査員からは「持続可能な社会の実現に関するページが充実しており、現代社会を意識した内容になっている」との報告があがっています。

次に、東京書籍143ページ、144ページをご覧ください。調査員からは「世界の農林水産業のページがあり、世界地理を学習する時に活用ができる」という報告があがっています。

次に「目標、内容の取扱い」の組織・配列についてです。2者ともに調査員からは「地図帳の使い方などが巻頭で詳細に説明されているので、地図帳活用の学習の導入が行いやすい」という報告が上がっています。

また、東京書籍について、調査員からは「そのページの資料と関係のあるページが書かれており、関連項目を学習しやすい」という趣旨の報告が上がっています。例として東京書籍47ページ48ページをご覧ください。こちらでは「ジャンプ」という矢印マークで関連資料のページが示されているのがわかります。

次に「目標、内容の取扱い」の「人権の取扱い」についてです。ここでは、地図の色味や文字について多くの報告や意見が上がっていますので、東京書籍の85、86ページ、帝国書院の105、106ページの近畿地方のページをご覧ください。

まず東京書籍ですが、学校からは「色味が目に優しく、情報が入って来やすい」、部会からは「淡い色を使用することで、見やすくなっている」という意見が上がっています。続いて帝国書院については、学校から「地図の濃度・明度が見やすく使いやすい」「色が鮮明に分けられているので、標高などを確認しやすい」という意見があがっています。

このようなそれぞれの特長はあるものの、大阪府の選定資料には、2者ともに「ユニバーサルデザインに対応したフォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている」と書かれています。

次に「学び方の工夫」についてです。ここでは、東京書籍63、64ページ、帝国書院77、78ページのオーストラリア・ニュージーランドの地図をご覧ください。

東京書籍の右下には、ハチのイラストが目印の「Bee's eye」のコーナーがあります。大阪府の選定資料には『「Bee's eye」のコーナーでは、自ら調べたり考えたりする学習課題が設けられているところがあり、個別最適な学びを充実させるとともに、その課題をテーマに、子どもたちが意見交流を行う活動を通して、協働的な学びが充実するよう図られている」と書かれています。このBee's eyeの回答は、同じページの二次元コードを読み取ることで確認できます。

次に帝国書院ですが、左下に「地図で発見！」のコーナーがあり、大阪府の選定資料には『「地図で発見！」のコーナーを通して、資料のポイントを整理し、生徒が資料を読み取り、主体的に学習に取り組めるように工夫されている」と書かれています。こちらでも同じページの二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスでき、そこからNHK for schoolにもリンクしており、学校からは「デジタルコンテンツでは、資料をアニメーション付きで見ることができて良い」という趣旨の意見があり、調査員からは「二次元コードからたどれるコンテンツが充実している。興味を持ち、主体的に学習に向かう意欲が育まれるように工夫されている」という意見が上がっています。

この帝国書院のページに関して選定委員会では、「ツバルなどのソロモン諸島の小さな島々についても拡大地図として取り上げているのが良い」といった趣旨の意見がありました。

また、帝国書院53、54ページをご覧ください。帝国書院には州ごとにこのような鳥観図が載せられており、調査員からは「各州の資料で、ながめてみようという鳥観図のページがあり、興味を引く地図になっており、各州のイメージをつかみやすい」や「興味を引くイラストが多く載っている」という報告が上がっています。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大阪府の選定資料には、2者ともに「社会科の学習内容と関連付けながら、補充・発展的な学習において活用できるよう配慮されている」と書かれています。

東京書籍59、60ページの右上のBee's eyeのコーナーをご覧ください。大阪府の選定資料には、「複数の図を比較検討する問いが設定されており、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている」という趣旨のことが書かれています。

帝国書院では、「内容の程度」でもお伝えしたとおり、図表・写真・グラフ等のページ数が多いため、調査員からは「資料が多く、発展的な学習ができる」という意見があがっています。

最後に、選定委員会での審議について報告いたします。帝国書院について「コントラストがはっきりしており見やすい」や、「地図、グラフといった複数資料を比較しながら学ぶことができる」や「資料の読み取りが課題の1つとしてあるので、資料が豊富な帝

国書院が柏原市の教育にあっているのではないか」という意見がありました。以上で地図についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。はい、田中委員お願いします。

田中委員：今説明されたのとほぼ同じことになるかもわかりませんが、どちらも工夫されているんですけども、東京書籍の方は先ほど言ったジャンプのページとか、B e e ' s e y e、このへんが工夫されています。

帝国書院も同じくいろんな工夫されているんですが、特に違いというのは、地図の手触りですかね。こちらの方が地図としては使いやすいかなという風に思います。また、イラストが東京書籍に比べて分かりやすい図になっているかなと思います。後は、防災教育のページが東京書籍に比べて、2ページに対して4ページと倍ぐらいあるんですね。先ほどの鳥観図の方も、東京書籍にもあるんですが、そこには単に図だけでイラストなどは入っていないのでね。やはりこちらの方がわかりやすいのかなということも含めて、帝国書院かなと思います。以上です。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：帝国書院、ページ35、36の大陸から見た日本の地図は、交流の歴史を表したのですが、現代においても重要な視点となる地図だと思いました。先ほどから出ている鳥観図は、土地の特徴がわかりやすいです。107ページの大阪湾周辺では、松岳山古墳、高井田横穴、亀の瀬など柏原の史跡がたくさん載せられていました。

東京書籍、こちらの鳥観図は海底の起伏もよくわかるようになっていました。地図の色遣いが優しいです。B e e sのキャラクターで楽しく学べる工夫があります。内容、コンテンツともどちらも詳しくて良いのですが、柏原に優しい帝国書院が良さそうだなと思います。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：みなさん今おっしゃるように、帝国書院の地図が見慣れているというのがあるかもしれませんが、平地から山地の色合いが見やすいと感じますし、そこから文字を読み取るのも読み取りやすいと思います。

東京書籍は、見開きの一番最後の日本地図が、ここまで大きいのが帝国書院にはないので、日本全体を見渡せるという点ではこれは非常にグラフィックでいいなと思いました。統計データが一番最後にどちらも載っているんですけど、若干帝国書院の方が、人口データとか1年違いなんですけど、新しいデータが載っているなというのがありました。全体的に帝国書院の方が良いかなという風に思います。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：地図の見やすさという話が出ていましたけども、個人的には帝国書院の方が、地図が見やすいなという印象をうけました。後、どちらも教科書を横にして見ないといけない地図が載っているんですけども、東京書籍は関東などでも横にしなければならぬとか、縦横変えて見なければならぬのは東京書籍の方が少し多いのかなと思いました。ぱっと近畿地方を見た時に、子どもたちも柏原を探すと思うんですけど、どこに載っているのかなと。帝国書院の方が柏原を探しやすかったなという風に思います。

後は、先ほど話にあったような、各ページに資料が多く載っている帝国書院は、自ら調べたり学ぶことにもつながってるなという風に思ったので、帝国書院がいいかなと、柏原の子どもたちに合っているのかなと思いました。

新子教育長：ありがとうございます。両者とも良いという評価なんですけども、前回の採択の時も、柏原がたくさん載っているというのが話題に上がりまして、今回も同じでそのようことが出ましたし、柏原の教育に合っておるといご意見もございましたので、帝国書院とさせていただきます。

それでは、引き続き、歴史の教科用図書ということで野本指導主事をお願いします。

野本指導主事：それでは、歴史について説明いたします。歴史につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、令和書籍の8者でございます。

まず、「内容の程度」についてです。教育出版248、249ページをご覧ください。「章末のまとめとして、各時代の特色や時代の大きな流れをつかみやすくなっている」と調査員からの報告にあります。

日本文教出版20、21ページをご覧ください。「各章の最初のページでは、世界地図と年表を示すことで、日本の歴史と世界の歴史を関連づけて学習できるように配慮されている」と調査員からの報告にあがっております。

育鵬社44ページをご覧ください。「[歴史ズームイン]では、本文ページで学習した内容について、より深めるための解説をしたり、別の視点からの見方を示すための資料や情報を紹介したりしている」と調査員からの報告にあがっております。

次に「組織・配列」についてです。帝国書院をご覧ください。「ページの初めに「学習課題」が示されており、見通しを立てながら学習に取り組むことができる。また、ページの終わりには「確認しよう」、「説明しよう」が示されており、学習を振り返ることができる」と調査員からの報告にあがっております。

東京書籍94、95ページをご覧ください。選定委員会の審議の中では、「東京書籍の振り返りが図やグラフとセットになっており、生徒にとって習慣的に図やグラフの読み取りができるようになっていて良い」という意見がありました。

また、選定委員会の審議の中では、日本文教出版は単元のまとめについて、歴史から考えさせるものとなっており、背景を考えさせるようにして良い」という意見がありました。

次に「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には「どの教科書もフォントや文字の大きさ、レイアウトなど工夫されている」と報告があがっております。

山川出版社をご覧ください。「字や行間を小さくすることで豊富な情報が記載されている」との報告が中学校からの意見書にあがっております。

次に「学び方の工夫」です。自由社103ページをご覧ください。「『時代の特徴を考えるページ』など、学んだことを自分の言葉で文章化できるようになっている」と調査員から報告があがっております。

令和書籍をご覧ください。「答えを求めるのではなく問いを提起することを意識して編

集している」と調査員からの報告にあがっております。

選定委員会の審議の中では、帝国書院・日本文教出版・東京書籍は、今、どの時代を学習しているかが分かりやすい」という意見がありました。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。東京書籍の140ページをご覧ください。大阪府の選定資料には、「思考ツールを掲載し、教科書にも書き込むことができ、多様なツールで試行を整理できるよう工夫している」とあります。

教育出版101ページをご覧ください。「歴史の技などのコーナーを適宜設けて、資料の読み解きを促し、資料活用の技能を身に付けるとともに、学習内容をより深く理解することができるよう工夫されている」と大阪府の選定資料にあがっております。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。育鵬社14、15ページをご覧ください。「小学校で学んだ歴史上の人物について、いつの時代にどのような活躍をしたか確認できるようにしている」と調査員より報告があがっております。

最後に、選定委員会の審議について、報告いたします。選定委員会の審議の中では東京書籍は「単元のまとめについて歴史から学ぶものとなっており、背景を考えさせようとしている。これからの自分たちにつなげさせるものであり、柏原の子どもたちの学習課題に合っているのではないか」という意見がありました。また「教育出版の学習のまとめが分かりやすい。苦手な子どもにも見やすく、必要なワードだけ抜き出されていて分かりやすく柏原市の教育にあっているのではないか」という意見がありました。以上で歴史についての説明を終わります

新子教育長： はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

田中委員： 東京書籍の方は公民とか地理とかも同じようなんですけど、それぞれ最初に課題を与えて、あと順番に考えていく、探求活動、探求に関する課題で課題解決する学習ができるのではないかなど。それから、まとめの活動で、先ほどもありましたように、確かめを振り返ろうというところで、今まで学んだことをしっかりと整理できるんじゃないかなという風に思います。スキルアップっていうところで、もっと知りたいというのが探求心をあげることができる。

それから、全体的に図やイラストが使っておられて、生徒にとっては学習しやすい、写真も綺麗という教科書かなと思います。あと、その次としては、日本文教出版の方でまとめと振り返りのところがしっかりと整理されてるんじゃないかなと思いました。大事だと思います。以上です。

新子教育長： はい、ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員： 教育出版には先ほどにもでていましたが学習のまとめのページがシンプルで分かりやすいです。それぞれの時代で人々や女性、子供の様子も多く取り上げられているのが良いと思いました。

東京書籍の各ページのサブタイトルが「イスラムの輝きにヨーロッパが目覚めた」「鎖国とは言うけれど」等、中身が分かりやすく関心を引きます。写真の資料が見やすく感じます。導入の活動にある絵で表現された年表が、一見して流れがつかみやすいです。

帝国書院はタイムトラベルでは、その時代の特徴を捉えた絵が見開きで大きく、町の

様子や人の暮らしなどたくさんの方が読み取れるようになっていきます。世界との繋がりを考えようのページの細かなところまでこだわって書かれている絵の表現がわかりやすく、歴史を好きな子が喜びそうです。以上の3者がふさわしいと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：東京書籍ですけれども、歴史への扉というページが、構成が全体に見やすく、東京書籍が、先ほどから調べようもっと知りたいで振り返り、まとめて深めて、理解を促すという、そういう構成が非常にわかりやすく、自ら学び深めることがしやすい教科書かなと思いますし、右に年表があるのが見やすいです。あと、領土問題であるとか、普通選挙に男性、最初は女性に選挙権はなかったのが男性普通選挙という風に書かれていたりとか、色々配慮があるという風に思いました。

教育出版も捉え方、歴史の捉え方、調べ方もゲームやパズルを通して興味を引くような仕掛けが面白いと感じましたし、流れがわかりやすいと思います。沖縄や北海道の歴史も詳しくなっていました。

日本文教出版、教科書の文章としてはとても読みやすいと感じました。こちら右に年表があってそれぞれ確認項目があるんですけども、最終的に歴史現代、歴史から現代社会にどうつなげていくかっていう最後のところがちょっと人権の問題を強調しすぎかなという感じがしました。

帝国書院は図や絵が多くてこちらは内容的には大阪や神戸のことであるとか、あと女性の労働のことなども詳しく載っていて、関心が持てる話題になりますけれども、歴史として全体をバランス良く学べそうな東京書籍かなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：歴史なんで、客観的な記載がある方がいいなと。どの教科書もそうなんですけども。

まず東京書籍さんですけども、みんなでチャレンジのワークシートがQRコードで読み取ることができるっていう風に、やはり二次元コードがすごく充実してるなというのは思いました。あと、单元ごとに学習課題、目当てですけども示されてるのもわかりやすいなと思います。あと個人活動とグループ活動の設問をうまく配置して、そういう構成で考えさせるように仕向けてるなと思いました。発展的学習が充実してるなとも思いました。

令和書籍さんはやはりカラーではないのですごく見にくいし、イラストや写真が少ないのかなと思いました。

帝国書院さんです。ページの解説で難しい語句が説明されていて、より理解が深まるなと感じます。ページの終わりの確認しよう、説明しようで学びが深まるよう、理解ができるように構成されてるなっていうのも思いました。

日本文教出版さんです。これからの課題のところに、部落問題なんかの人権課題についても丁寧に説明されてるなと思います。ここも单元ごとに学習課題が示されて、課題が捉えやすい、捉え方がわかりやすいなと思いました。

教育出版さんです。ここも未来を開くためにで、人権の課題も丁寧に示されている。

巻末のまとめも分かりやすいですし、学習課題が単元ごとに示されていて、その時間その時間に学ぶべきことがわかりやすく示されているなどと思いました。

育鵬社さんです。大阪の歴史調査隊で、大阪の歴史について非常に詳しく記載されているなどと思いました。ただ、QRコードで読み取れるそういうデジタルコンテンツは、育鵬社さん、それから山川出版社さん、自由社さんもそうなんですけども、ほとんどないなという風に思います。

あと、育鵬社さんのこれからの世界と日本で、271ページなんですけども、新しい事実として新型コロナウイルスであったり、安倍元首相の銃撃事件なんか記載されているんですけども、これと日本の役割っていうところでの結びつきが少し分かりにくいなと、どう日本の役割とこの事象が繋がっていくかっていうのが少し分かりにくい記述になってるなというのを感じました。

以上です。歴史の教科書としては東京書籍さんがいいのかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。8者説明があったわけなんですけども、現場からは柏原の教育にあっておるということで、教育出版と東京書籍が良いのでとそういう風なご意見があったんですけど、中学校の現場の教師の方からも聞かれているところなんですけども、ご意見を聞かせていただいて、東京書籍さんの方で考えますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：ありがとうございます。休憩を10分ほど取りたいと思います。40分から始めます。

(休憩)

新子教育長：では理科から再開します。柏山指導主事よろしくお願いします。

柏山指導主事：それでは、理科について説明いたします。理科につきましては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5者でございます。

まず、「目標・内容の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、理科の目標を達成することができるよう、生徒の発達段階を考慮した内容となっており、各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている」と書かれています。

学校図書について、1年生7ページをご覧ください。調査員からは「単元の初めに学習を通じて身に着きたい資質能力が、『Can-Do List』として明記されている」という報告があがっております。

教育出版について、1年生27ページをご覧ください。部会からは「大事な言葉が、オレンジ色の文字で示されており、分かりやすい」という意見があります。

また、1年生5～7ページをご覧ください。調査員からは「5段階のステップがあり、学力の定着と向上を意識した構成になっている」という報告があがっております。

啓林館について、1年生6ページをご覧ください。大阪府の選定資料には「『観察・実

験の注意・安全マーク』で示すとともに、文字を赤字で示し、危険が回避できるよう配慮されている」と書かれています。

次に「学び方の工夫」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている」と書かれています。

東京書籍について、1年生19ページをご覧ください。調査員からは「実験や器具の操作について具体的に確認ができる動画が用意されている」という報告があがっております。

大日本図書について、1年生83ページをご覧ください。調査員からは「観察・実験では『目的』『着目点』『結果の整理』『結果から考えよう』が明記されており、見通しをもって観察・実験を進められるようになっている」という報告があがっております。

学校図書について、1年生23ページをご覧ください。学校からは「『この時間の課題』として、まとめる課題が出されているため、生徒も教師もそこに向かって授業することができる」という意見があります。

教育出版について、1年生127ページをご覧ください。調査員からは「具体的な対話例が記載されており、主体的な学びを促すヒントとなっている」という報告があがっております。

啓林館について、1年生86ページ及び1年生205ページをご覧ください。部会及び学校からは「『探Qのたね』など学習内容を深化させる工夫がされている」「WebリンクがQRコードとして随所に載っており、NHK for Schoolなどと連携しており、動画や超解像度写真などのWeb教材を活用しやすい」という意見があります。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、自然や身の回りの事物・現象を科学的に探究したりできるよう配慮されている」と書かれています。

東京書籍について、1年生7ページ及び1年生187ページをご覧ください。調査員からは「『お仕事図鑑』や『社会につながる科学』、『防災特集』などの内容があり、生徒の意識が向くような工夫がある」という報告があがっており、学校からは「実際に働いている方のインタビューが載っており、仕事と科学分野のつながりを感じることができる」という意見があります。

啓林館について、1年生194ページをご覧ください。調査員からは「全国学力・学習状況調査や入試問題などの応用問題も十分ある」「単元末に動画を見て課題を解決する問題が用意されている」という報告があがっております。

最後に、選定委員会の審議について報告いたします。全者ともに、「全者ともに写真やイラストを多く取り入れ、レイアウトも工夫されており、興味関心がわくようなものになっている」という趣旨の意見がありました。啓林館については、「教員は教科書に沿って実験することが多く、啓林館の記載内容や記載のしかたがとてもわかりやすい」「写真等も見やすくわかりやすい」などの意見があり、調査報告の内容からも今の柏原市の教

育にあっているのではないかという意見がありました。また、東京書籍について、「教科書の流れに沿って実験器具の使い方が示されており、わかりやすい」という意見がありました。以上で理科についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。はい、田中委員お願いいたします。

田中委員：はい、注目したのは啓林館と東京書籍なんですけれども、啓林館の方は、説明にもありましたように、レイアウト・デザインとかそれから資料もわかりやすく、興味を持たせるような構成になっているかなと思います。

巻末の探求シートとか、あるいはサイエンス資料アクションの中で実験に向けて、さらに興味を深めて、それからの防災減災についてですかね、これがそういったところで啓林館が一番いいかなと思います。

東京書籍の方は、先ほど説明ありました実験器具の操作が、説明を教科書見ていてわかりやすいということと、それからまとめの問題が確かめる問題と活用問題、これは啓林館の方にも基本と発展みたいな形になっていて、どちらもいいんですけども、先ほど申しあげましたようにやっぱり啓林館かなと思います。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：東京書籍、なるほどねやまちなか科学館など学習内容に関連した読み物が多く、学ぶことへの興味や有用性が実感できます。使われている写真が美しく目を引きまします。2年生の10ページ、元素周期表がそれぞれがどんなことに使われているかわかって楽しく、覚えやすいと思いました。

啓林館、学習のまとめがわかりやすく、使い勝手が良さそうです。図や表は、大事な部分の特徴がよくわかるよう配慮してあると感じまします。特に、各学年の物質の章の実験図がいいと思います。楽しく学べる東京書籍、理解しやすい啓林館のどちらかなと思います。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：啓林館、先ほどから出ていますけれども、まず、教科書のサイエンスっていうのがすごくいいなと思いました。写真・図がわかりやすいですし、最後に載ってる探究シート・デジタルシートっていうデジタルコンテンツはデジタルシートとなってますけれども、これが十分活用できると、理科としての学問が、探求として課題仮説計画とか考察というところが非常に有効的かなと思います。基礎的なことから発展的な内容まで非常に見やすく配列されている教科書だと思いました。

東京書籍は、他の教科書もそうですけれども、こちら配列が良いのと、デジタルコンテンツが豊富かなというふうに感じましました。

大日本図書は、小学校の学習の振り返りで繋がりやすくてわかりやすい反面、先ほどの2社と比べると写真の数が小さめのようにちょっと感じましました。

翻って学校図書の方は、むしろダイナミックな写真が目を引くところがありまましたし、深めることなどは巻末の補充資料で非常に充実していると思いました。

教育出版は、コラムもありまましたけれど少しその内容的に小さめだと感じままして、科学としての関心をひきやすいという点では、それ以外の会社の方がいいかなと思いまし

た。最初に言ったようにサイエンスというところで充実しているのは啓林館かと感じます。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：大日本図書さんです。サイエンスプラスなどがあってわかりやすく学びが深まるようにされてるなど。まとめ問題で、読解力を高めるような問題もあっていいなと思いました。

学校図書さん、写真が大きくてすごく見やすく、イラストや図もうまく配列されているように思います。思考を深めるの欄で学びが深まるように構成されてるなと思いました。

教育出版さんですけども、教科書の色合い、目に優しくするために、ちょっと色使いが薄いのかなという感じで、ちょっと他の教科書よりも薄めに感じました。写真などもちょっとなんか少ないのかなという印象を受けます。

啓林館さんです、写真やイラスト図などが見やすく配列されているので学びやすいかなと思います。広がる世界などでは、日常に疑問をもち、興味が湧くようなポイントも設定されてるなと思いました。探究実験で学びが深まるように考えられてるなと思います。2次元コードも使いやすく工夫されています。

東京書籍さんです、これも漫画やイラスト・写真・図を使い、理解を深めようと、構成されていると思います。2次元コード非常に充実してるんですけども、実験手順、ワークシート、練習問題、シミュレーション、インタビューなどの動画コンテンツが非常に充実してるなと思いました。東京書籍さんはどの学年も表紙に個人の写真を、表紙に持ってこられてるんですけども、ちょっと個人の写真を持ってこられてる意味がちょっとわかりにくいな、なんで個人の写真が表紙に来てるのかなっていうのはちょっと疑問に感じました。

小学校の教科書の繋がりも考えたら、啓林館さんがいいのかなというふうに思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。5社について、皆さんからのご意見を頂きました。東京書籍・啓林館2社については、多く語っていただいたんですけども、皆さんのご意見、あるいは選定委員会の方からも柏原の教育にあっているのではないかという意見もありましたから、啓林館の方だと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、ありがとうございます。では、啓林館ということで。それでは続きまして、技術・家庭（技術分野）を柏山指導主事お願いします。

柏山指導主事：それでは、技術・家庭（技術分野）について説明いたします。技術につきましては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者でございます。

まず、「目標・内容の取扱い」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、技術分野の目標を達成することができるよう、生徒の発達段階を考慮した内容となっており、各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている」と書かれています。

東京書籍について、58、59ページをご覧ください。調査員からは「各内容の2章では実習例を通して、問題の見出し課題を設定し、それを解決する力の育成を促す内容で構成されている」という報告があがっております。

教育図書について、別冊1ページをご覧ください。調査員からは「工具の使用方法などの基礎的な技能は、別冊の「ハンドブック」でまとめられている」という報告があがっております。また、大阪府の選定資料には「別冊『スキルアシスト』は、加工法の確認や実習中に作業を確認できるようになっている」と書かれています。

次に「学び方の工夫」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、技術の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている」と書かれています。

東京書籍について、4、5ページをご覧ください。調査員からは「デジタルコンテンツを取り入れていて、動画・画像だけでなく、図鑑や資料、疑似体験シミュレーションなど多くの情報を手に入れることができる」という報告があがっております。

教育図書について、141ページをご覧ください。部会からは『やってみよう』や『考えてみよう』で、個人で考えを深めたり、グループで交流しながら理解を深めていったりする活動が設定されており、言語活動の充実を図りながら、主体的・対話的に取り組めるように工夫されている」という意見があります。また、学校からも同様の意見があります。

開隆堂について、93ページをご覧ください。調査員からは「右上隅に工具や電子部品が挿絵で紹介されている」という報告があがっております。

次に「補足的な学習・発展的な学習」についてです。大阪府の選定資料には、「各者とも、学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、キャリア発達をふまえて学習内容と将来の生き方との関わりを考えたりできるよう配慮されている」と書かれています。

東京書籍について、154、155ページをご覧ください。調査員からは「ほとんどのページの下部に『技術の工夫』の記載があり、生徒の興味・関心を高め、学習の幅を広げ、発展的な学習がある」という報告があがっております。

教育図書について、61ページをご覧ください。学校からは『先輩に聞いてみよう』や『先輩からのメッセージ』では、生徒に技術への興味・関心を抱かせたり、進路について考えられるように配慮したりしている」という意見があります。

開隆堂について、104、105ページをご覧ください。学校からは「『各内容の最後には、技術者のメッセージを紹介するなど、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように配慮されている」という意見があります。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。東京書籍について、140、141ページをご覧ください。調査員からは「リンクマークで、小学校〇年・教科名・単元の記載により、学習のつながりがある」という報告があがっております。

最後に、選定委員会の審議について報告いたします。東京書籍については、「学校現場からの声も多く、全体的に見やすい構成になっている」「本文以外の情報もよく、実習例も多い」などの意見があり、調査報告の内容からも今の柏原市の教育にあっているので

はないかという意見がありました。開隆堂については、「技術を身につけることに力が入られている」「目当てや課題の設定に工夫があつてよい」という意見があがりました。

教育図書については、「別冊スキルアシストは、実習に特化した内容がまとめられており便利である。ただ、管理面では工夫が必要かもしれない。」という意見があがりました。以上で技術についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。はい、田中委員お願いいたします。

田中委員：東京書籍はやっぱ詳しく書かれてて、先ほど説明ありましたように、技術の工夫とかがかなりのページの下に書かれているんですけども、それを考えていくことによって、主体的・対話的な取組みも進められるのではないかと。

それから各2章ですかね、問題解決についての取組みがそれぞれ書いてあって、それも同様に考えるというそういう姿勢が身につについていいじゃないかなと思います。あとは調べてやってみようとか話し合ってみよう、ふりかえりで深めようなどうまく工夫されて理解しやすいかなと思います。

あと、教育図書は別冊スキルがいいなというふうな部分もあるんですけど、ちょっと確かにいつ持ってくるかどうかとか、別冊になつて分ちょっと気にはなるところです。

開隆堂もインタビューとかわかりやすいところですけどやっぱり全体的にみて東京書籍かなというふうに思います。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：教育図書、各分野実習の初めに安全な進め方のページがあります。大事なポイントがわかりやすくなっています。251ページ、将来のあなたへとして、高校の先輩たちからのメッセージがあり、進路を考えるにあたり、とても参考になります。別冊のスキルアシストは工具を使うとき、手軽で便利そうです。

東京書籍12ページからの技術分野のガイダンスのページが楽しいです。実習を問題解決と捉えて表現されていて、前向きなところがいいです。また、問題解決例のページは、マンガでの問題発見や解決の道筋がわかりやすいページ構成になっています。情報では、双方向性コンテンツについて詳しく親切な説明です。新技術・新素材の紹介も多く、興味を引きます。

開隆堂、テクノロジーに希望を乗せてという夢のあるタイトルが付けられています。最初の折り込み、ドラえもののひみつ道具は実現しているは、技術で学ぶことの可能性を実感でき、興味が持てます。実習例のページが見やすく、例も多いのがいいです。社会人や技術者のインタビューが詳しく、その分野の仕事の様子がよくわかります。

以上の3者ですが、私はどんどん進歩していく技術を意識した内容になっていると感じる東京書籍がいいんじゃないかなと思います。

新子教育長：ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：技術の教科書がずいぶん年々進化していて、中身が学校のことだけではない、エネルギーのこととか情報のこととか将来の職業であるとか、イメージする内容だなと思って全部の3つの教科書を見ていました。その中では図と説明をうまく組み合わせでわかりやすかったのは東京書籍かなというふうに感じました。

開隆堂は、読むところの文字が少し多めで、例えば情報の内容であるとか、デジタルなんかは少しわかりにくいような気がしました。

教育図書は別冊のスキルアシストは、扱いはちょっとまた工夫が要るかもしれませんが、一つにまとまっているのは良いところだと思いますし、先輩の言葉の進路なども、先ほど言った将来の進路に子供たちにも非常に役に立つ内容に感じましたけれども、これも全体的なバランスとかいろんな技術の内容からすると、情報がたくさん入ってなおかつ整理されているのは東京書籍かなと感じました。

新子教育長：ありがとうございます。太田委員お願いします。

太田委員：技術の教科書ですので、作業手順などがわかりやすく学べて、将来にわたってその技術に興味を示すような、そういう土台を育てるような教科書がいいなというふうに思っていて見させていただきました。

開隆堂さんですけども、先ほどからありました開発者に聞いてみようなどのインタビュー、それは技術開発者へのリスペクトが感じられて、技術を学ぶ意欲に繋がるなというふうに思いました。

教育図書さんですけども、先ほどから出てますけども、スキルアシストはいいんですけども、確かに、今も教科書を開いてるとちょっとスキルアシストだけがずれていたりとかしますし、教室に置いとくんでしょうけども、教科書持っていったときにスキルアシストだけ持って行くの忘れてたりとか、そのようなちょっと使いやすいのか使いにくいのか、意見のわかれるところかなというふうに思いました。なので、ページ数が全体的には少ないんですけどもスキルアシストがある分、教科書が少し分厚く感じるかなと思います。やってみようや考えてみようで、理解を深める活動が示されているのはいいなと思いました。

東京書籍さんです、問題の発見、課題の設定などの構成が非常に使いやすいようにされてるなど。ページの初めに目標、それから学習課題ということで、目当てなんかも示されているのはこれもわかりやすいなと思いました。

東京書籍さんはどの教科書もそうですけども、デジタルコンテンツを多く取り入れているので、そこから多くの情報が得られるようにできているので、東京書籍さんが使いやすいのではないかと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。もうみなさん、東京書籍という声を頂いてますので、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：ありがとうございます。それでは続きまして、技術・家庭（家庭分野）を西村指導主事お願いします。

西村指導主事：それでは、技術・家庭（家庭分野）について説明いたします。技術・家庭（家庭分野）につきましては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」のうち「内容の程度」についてです。大阪府の選定資料には、全者とも「文章の記述や分量、写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容になっている」とあります。また、「実物大の野菜の写真や作品

例、挿絵、図表などが豊富に掲載されるなどの工夫もされている」とも記されています。

また、東京書籍の12ページをご覧ください。「教科書名の副題『自立と共生』についてガイダンスの図解で説明しており、今までの生活と将来への課題をわかりやすく目標を示している」という意見が調査員、部会、学校からあげられていました。

次に「目標、内容の取扱い」のうち「組織・配列」についてです。大阪府の選定資料には、全者とも「各分野の目標や内容をふまえて教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている」とあります。

また、東京書籍の216ページを例えとしてご覧ください。調査員からは「各編の『学習のまとめ』が端的でわかりやすい」との報告があります。

次に「目標、内容の取扱い」のうち「人権の取扱い」についてです。大阪府の選定資料及び調査員ともに全者とも人権への配慮、実習時の生徒の安全・衛生について適切に取り扱われているという趣旨の報告があります。

また、開隆堂の32ページの上の部分にある「変化する家族関係」の本文をご覧ください。「親の再婚」「両親の離婚」「家族の死」という表現を使用されていますが、児童自立支援施設、2つの児童養護施設から通う生徒がいる本市においては、教材として取り上げることに慎重にならざるを得ないという趣旨の意見が調査員、部会、学校からあげられていました。

次に「学び方の工夫」についてです。大阪府の選定資料には、全者とも「動画やワークシート等のデジタルコンテンツを活用したり、話し合いを促す場面を設定したりするなど、個別最適な学びと共同的な学びが一体的に充実するよう工夫されている」と書かれています。

また、教育図書の88ページをご覧ください。その右のページの折込①を広げ、折込②まで広げてご覧ください。そちらに示されている、6つの基礎食品群の表とその表の下の部分の「料理例でのめやす」という欄をご覧ください。「6つの食品群がページをめくることなく全体が把握できるように工夫されている。また、献立の例とも対応しており、分かりやすく工夫されている」との意見が調査員、部会、学校からありました。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。大阪府の選定資料には、東京書籍、開隆堂においては「領域ごとの『学習のまとめ』において」、教育図書においては「領域ごとの章末のまとめ『学習のふり返り』において」基礎的な知識・技能の習得を補充するように配慮されていると記されています。

東京書籍110ページをご覧ください。「学習のまとめ」大きな1番のすぐ下「大切な用語の確認」の所をご覧ください。「『大切な用語』の頁数が記載されており、個々に応じた復習がしやすくなっている」との意見が調査員、部会、学校からあげられていました。

次に教育図書の例えば262、263ページをご覧ください。「各単元の最後にある“学びを生かそう”が発展的な学習のやり方の具体的な方法が示されていてよい」と学校からあげられていました。開隆堂の巻末資料304ページ以降をご覧ください。こちらの「巻末の資料が発展的な学習に使いやすい」との意見が調査員よりありました。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。東京書籍の244、245ページをご覧ください。部会、学校からは「幼児とのふれあい体験がわかりやすいので、実際の指導に行きやすい」と指導者側の使いやすさからの意見がありました。その他、開隆堂の教科書には「表紙に大きく『家庭分野』の文字を入れてほしい」と教科書タイトルのわかりやすさを求める意見が部会、学校からあげられていました。

最後に、選定委員会の審議について報告いたします。家族の部分で現場からの声にあったように、あえて文章にしたり、強い言葉で表現されたりしていることが、使いにくいのではないか。

また、東京書籍の21ページ、教育図書の14、15ページ、開隆堂の26、27ページをご覧ください。家族の導入の部分です。全者の導入部分を見てみると東京書籍や開隆堂の、アニメや漫画で家族が説明されていることが導入として使いやすいのではないかと趣旨の意見がありました。

東京書籍については、調理実習の実習例がとても見やすい、6つの基礎食品群の図が、教育図書と同様に見やすいとの意見もありました。また、東京書籍や教育図書の6つの基礎食品群の表において、男女の表記部分には「女子」「男子」とされていることについても触れられていました。

これらの内容と、調査報告の内容から、東京書籍が柏原の教育にあっているのではないかと意見がありました。以上で技術・家庭（家庭分野）についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございました。田中委員お願いします。

田中委員：東京書籍ですけれども、学習のまとめ、最後のほうにあるものですね、それからその中の最初のチェック付ける大切な用語の確認、これはやはりまとめながら復習するにはいいやり方かなと思います。

それから他の教科書と一緒になんですけれども「やってみよう」とか「考えてみよう」という、それで自主的な学習がすすめられるのではないかという風に思います。自立と共生ガイドランスの説明もそれを見て内容がわかりやすいなという風に思いました。あと、教育図書ですけれども、6つの基礎食品群ですね、これ、折り込みで見やすく食材もわかりやすくいいんですけれども、その後の色分け、次の成分の色分けとかがデザインのちょっと気にはなりました。

開隆堂の方は、学習のまとめがよくできて発展のところもいいかと思うのですけれども、東京書籍に比べるともう一歩かなという風に思って、全体的には東京書籍かなという風に思います。

新子教育長：近藤委員お願いします。

近藤委員：はい。東京書籍、ポイントや予備知識がキャラクターの吹き出しで目に留まりやすくなっています。先ほども出ていましたが、食品摂取量のめやすは、手計りが紹介されており、覚えやすく、わかりやすいです。71ページ、火加減の写真がよくわかります。同じページにIHコンロの説明があるところも良いです。255ページ、幼児の生活では「あなたはみんなの宝物」というコラムがあり、自分も大切にされてきたこと

がわかるページがあるのがいいです。レンジ調理やサステナブルクッキングなど、レシピの紹介が多く、写真もおいしそうです。

教育図書、先ほども上がっていました、「食品群」のページが見やすいです。続けて食品成分表があるのも使いやすそうです。212ページ、「住まいの中で起こる事故の例」がたくさんあり、絵になっていてよくわかります。236ページ、クレジットカードについて詳しく、子どもの疑問に思いそうなことをうまく説明してあります。

開隆堂、「自立し、ともに支え合う生活へ」の本のタイトルが、学ぶ目的がよくわかります。36ページ、「家庭生活を支える社会」では社会保障についてわかりやすく紹介されています。その他、子どもの権利条約、誰もが尊重される家庭、地域の生活など、つけられた本のタイトルを大切に意識した内容になっていると感じます。調理実習例の頁が大きく、手順が見やすいです。どれもとてもいい教科書だと思ったのですが、東京書籍が使いやすそうに思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。西村委員お願いします。

西村委員：はい。東京書籍が先ほど最初にご説明にあったように、自立と共生というところの説明があって、家庭科で何を学ぶかということが、わかりやすく記されていると思いました。衣食住から始まって、消費、家族、地域と進んでいく流れも、こちらの方が中学生としては、自分のまず自立から地域に向かって共生していくという点では流れとしてはスムーズなのかなという風に感じましたし、将来の、先ほどの技術と、ちょっと違う分野ですけれども将来の職業をイメージしやすいように思いました。

教育図書はいろいろな家庭が示されていましたし、男女共同参画社会について詳しく述べられていたところがよかったかなと思います。

開隆堂も同じ流れで、教育図書と開隆堂は、家族、地域から入って、全体から入って、衣食住、消費という流れになっていました。開隆堂は写真が多くて、ひきつけるものも多く、先ほどの表現の中で、少し取り扱いにくい場面もあるかとは思いますが、少し社会に向かって踏み込んだ内容であるかなと思います。決して悪い内容ではないのですけれども、使いやすい教科書としては東京書籍かなと思いました。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。

太田委員：教育図書さんですけれども、家族のことも出ているんですけれども、いろいろな家族の形があることにはあまり触れられてないのかなという風に思いました。まあ、ごく一般的な家族の形を示しているのかなと。あと、それぞれの頁に目当てが示されているのがいいのかなと思いました。

東京書籍さんです。編修趣意書が自立と共生というところで、それがうまく図や写真、イラストでわかりやすく構成されている。東京書籍さんは一定いろいろな家族の形が示されているなという風に思いました。目標や学習課題が最初に示されているので、学びにスムーズに入っていけるし、学習のまとめが全体としてわかりやすくされているなと思いました。

開隆堂さんです。出だしで色々な多様な家族関係について載せているのはとてもいいなと思いました。里親さんの話が出て来るのも、良いなと思いましたし、調査員さんの

報告で、児童自立支援施設とか、養護施設がある中で、ちょっと踏み込むのはどうなのかなという意見が出ましたけれども、やっぱりそこは必要な部分で、今の家族の形にそういうことが出て来るのはみんなが知っている必要があると思うので、そこにはあまり違和感は感じませんでした。全体を通してみたら、東京書籍さんがやはりいいのかなと思いました。

新子教育長：はい、ありがとうございます。それでは、東京書籍でよろしいですか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：はい、それでは道德、西村指導主事お願いいたします。

西村指導主事：それでは、道德について説明いたします。道德につきましては、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研、あかつき教育図書、日本教科書の7者でございます。

まず、「目標、内容の取扱い」のうち「内容の程度」についてです。光村図書の1年生の109から111ページをご覧ください。本教材のように「読みの負担を軽減し、話し合いの時間確保のため、挿絵と短い文章で端的に示した教材がある」との意見が、調査員よりあげられていました。

同じく調査員からはあかつき教育図書において「定番教材が多数掲載されており、教員が授業計画を立てやすい」というふうに感じている意見がありました。

調査員からは他にも教育出版について「内容や文章量が発達段階に即して構成されており、考える・議論する時間の確保に配慮がある。」との意見があり、これは大阪府の選定資料においても「発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている」と同様の内容が書かれています。

一方で教育出版の1年生138ページをご覧ください。『それは個性』という教材が、いじめにもつながる危うさを感じる。生徒にそこまで深く理解させるには、テクニックが必要だと思う。」という意見も学校からあげられていました。

次に「目標、内容の取扱い」のうち「組織・配列」についてです。大阪府の選定資料には、全者とも「教材の冒頭に視点マークが示されている」と書かれています。

日本教科書では、その視点マークに加えて「必要に応じて『ウェルビーイングカード』マークが示されている」との特徴があげられています。例えば、日本教科書1年生8ページの1つ目の教材をご覧ください。タイトルの下にあるカードマークが「ウェルビーイングカードマーク」でして、その「ウェルビーイングカード」そのものは、全学年の一番後ろの部分に少し分厚い紙でつけられています。こちらのウェルビーイングカードについては「1年生には少し難しいように感じる。イラスト等の補助があれば使えるかもしれない」との意見が学校よりあげられていました。

光村図書2ページの目次の頁をご覧ください。「教材一つ一つを独立させるのではなく、いくつかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるように、ユニットが構成されている」との意見が調査員からあげられています。

次に「目標、内容の取扱い」のうち「人権の取扱い」についてです。東京書籍3年生の46ページをご覧ください。「外国人差別の問題」が書かれています。それと2年生の1

29ページをご覧ください。「明治時代にあった女子教育の問題」、そしてもう一度3年生150ページをご覧ください。「LGBTをカミングアウトした元バレーボール選手の話」などを教材化し、生徒たちが人権について考えられるようにしている」という報告が調査員からあがっています。

次に「学び方の工夫」についてです。日本文教出版の教科書に付属の冊子、道徳ノートをご覧ください。大阪府の選定資料や調査員より、「教材ごとや学期ごとの学習を記録するワークシートが別冊『道徳ノート』として付属されており、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている」という趣旨の報告がありました。

また、あかつき教育図書では、例えば、1年生の32ページをご覧ください。「魚の涙」という教材の後ろの34ページに「MY PLUS いじめについて話し合ってみよう」とあるように、「各学年それぞれ3つの教材に『マイ・プラス』が設置され、生徒がいろいろな立場に立って想像したり考えたりできるような問いを設定している」という意見が調査員からありました。さらに現在使用しているのは、あかつき教育図書ですが、「前年度までの教材で、全く同じものでも資料や写真に変更が加えられていたり、難解な内容には漫画を挿入してみたり、また文章表記にまで変化があり、より生徒の身近に感じられるよう工夫がみられる」との意見も学校からあげられていました。

次に「補充的な学習・発展的な学習」についてです。東京書籍の目次の頁、2ページ目の下段をご覧ください。SDGsのカラフルな円形のマークが付けられておりますが「SDGsと関連して扱える教材を各学年3本、付録として掲載している」との報告が調査員よりありました。

学研の「3年生に杉原千畝さんや2年生に大山捨松さんなどの話があるので社会の教科などとの関連がある」との報告が学校よりあがっています。

次に「幼小中一貫教育の観点」についてです。教育出版の2年生128ページをご覧ください。「小学校の定番教材『金のおの』その後」を掲載している」との報告が調査員よりありました。

また、学研の1年生22ページをご覧ください。「1年生の最初の方に小学校時代の友人とのSNSトラブルに関する読み物があり、時期的に効果的だと思われる」と調査員より報告がありました。

その他、教科書本体の大きさについては各者様々ですが、あかつき教育図書は「今年度までのAB版からB版になり扱いやすくなった」との報告が学校からありました。

最後に選定委員会の審議について報告いたします。あかつき教育図書は読み物教材を中心に構成されているとの意見が出ました。漫画だけしかない教材だと、内容理解が容易になるかもしれないが、表情がすでに描かれているなど、気持ちを想像して考えることが難しくなることから、読み物教材の方が授業しやすいのではないかとの意見がありました。

また、調査報告の内容も併せて、先生たちが子どもたちに読ませたい・考えさせたい教材が入っているのが良いのではないかという観点からもあかつき教育図書が柏原市の

教育にあっているのではないかという意見が出ました。

光村図書については、調査員から「付録で小学校の定番教材があり、学び直しができるようになっている。」と付録に関する意見がありますが、付録としてプラスアルファがある方が教材を選びやすいかもしれないとの意見があげられました。以上で道德についての説明を終わります。

新子教育長：ありがとうございます。はい、田中委員お願いします。

田中委員：あかつき教育図書ですが、こちらの方が今まで使われていて、さらに使いやすく改善されているという風なことにつきまして、現在使っている期間、まだ使いやすいということがあるので良いかなと思います。

それと、各学年3つの教材の中にマイプラスがありまして、これがなかなかいい取り組み、構成かなと思います。あとはスタンダードな教材のバランス良いということ、また、自分を見つめて考えを深めるというところなんかもいいかなと思います。Thinkingというコラムもありますし、そこらへんが充実しているかなと思います。

あとは、その次でいうと光村図書かなと思います。こちらの方も、身近で現実的な教材が多くて新聞記事なども入れているし、これを受けて、小学校の時の学びも入っていて、小学校から続けて道德を学ぶには進めやすいかなという感じもしていました。あかつき教育図書が一番かなと思います。以上です。

新子教育長：ありがとうございます。近藤委員お願いします。

近藤委員：光村図書、漫画になっている頁や横書きの頁など、内容に応じて理解しやすい工夫がされています。挿絵も含めて全体に優しい印象です。

東京書籍、各学年いじめの教材に使われている漫画が良いです。絵の表情もよく、気持ち伝わってきます。アスリートや人物は、阿部詩さん、ティモンディの高岸宏行さんなど、子どもにとって活躍をよく知る人が多く取り上げられていて、身近に感じられます。写真の資料が見ごたえがあるものが多いです。特に、3年生の102ページ、「その子の世界、私の世界」は写真から考える教材で、子どもに見てほしいと思う教材です。

あかつき教育図書、先ほどからも出ていました「マイプラス」の頁は余白が多く、問いに集中できると感じます。情報モラルの教材は、スマホ依存チェック、リアルとネットの不思議など情報社会との向き合い方をしっかり考えられる内容です。ところどころに授業内容にあったコラム、Thinkingがあります。授業の後に読むことで、より理解が深まります。本が薄めで小さいのがいいと思います。

日本文教出版、「いじめと向き合う」の教材が豊富です。いじめ問題に重点を置いて作られていると感じます。「視野を広げて」のコラムの内容が充実しています。特に、いじめに関するコラムでは、感情のコントロールを教える頁が各学年にありました。多様性を尊重し合う社会の教材には、活躍を目にすることが多いリトさんや井出上漠さんのお話が興味を引きそうです。4つを候補に挙げます。

新子教育長：ありがとうございます。はい、西村委員お願いします。

西村委員：はい。先ほどからあがってます、現在使われてますあかつき教育図書さんは、サイズの読みやすいなと思いました。3年生の教科書で「おひだまり」というのが

出てくるんですけど、中3の今何も決めきれない中途半端な自分という話題が非常に子どもたちの心に響くのではないかなという、いい話がたくさん載っているなという風に思いました。あかつき教育図書さんの裏表紙に「保護者の皆様へ」と全部の教科書に載っているのですが、子どもたちの生きる力を養う心を育んでいくことという風にしてあって、中身もシンプルですし、結論を決めきらずに先ほどのページのように慎重に添いつつ、考え、導き出す教科書という風に感じます。

逆に光村図書さんはヒントとなる言葉とか導きとかガイダンスが多くて、これはこれで考えを導きやすい点は利点ではあると思いますけれども、よりよい人生とか、よりよい学校生活という「よりよい」よりも「生きる力」の方が、私はちょっと言葉としては好きで、他の教科書と比べますと、あかつき教育図書さんはそこらへんがちょっと重点的に感じています。以上です。

新子教育長：はい、ありがとうございます。太田委員。

太田委員：道徳なので、「読んでみたいな」とか「手に取って開いてみたいな」と思わせるような教科書がいいのかなと。あと、教員が道徳の時間、週1回、なかなか35時間を確保するのが難しい状況の中で、教員が授業をしやすい教科書がいいかな。そういう視点で見たときに、どの教科書も今までよりもすごく生徒が興味を持ちやすい、そういう風に工夫されているなというのには思いました。

東京書籍さんです。議論する内容だったり、考える内容、色々な考えを知る内容を、幅広い教材が示されているなという風に思いました。SNSや情報モラルについての内容やいじめについて考えさせる内容なども充実しています。学びを振り返るページが、教科書内にありますし、考えを書き込む欄を設けてあったり、テーマ別の振り返りも分かりやすい。先ほどの議論する内容とか、考える内容を漫画やイラスト、写真などで興味を持てるようにうまく考えさせられるように配列・構成されているなど。あとQRコードで、読み物教材の文章の音声の流れたりするので、それは教員も使えるのではないかと。あと、ワークシートもQRコードで出せますので、プリントアウトしたら使えるのかなという風に思いました。NHKに関連している内容であったら、NHKの映像もそのまま見ることができる点もいいなと思いました。

光村図書さんです。紙質がちょっと色みが茶色っぽくなっているので、少しですけど教科書の印象が暗く感じる。道徳で何となく授業の入りが重く感じたりするので、もう少しイメージが明るくなってもいいのかなという風に思いました。学びの記録があって、切り取って使うことができるのかなと。あと光村図書さんですがヨシタケシンスケさんのイラストが使われていたりするので、子どもたちに親しみやすいように作られているなと思いました。教科書の裏の見開きの文書が前向きになる言葉が使われているなという風に思います。

「問いを立てよう」というところがあるのですが、子どもたちに少し難しい点もあるのかなと。内容を言い出したらきりがないので、3年生の「わたしがピンク色のキャップをかぶる訳」をいうのを読んだんですけど、水泳で相手が泳ぎをやめた。全くしゃべったことのない子の思いを自分がピンク色のキャップをかぶって引き継

ぐという、ちょっと内容的にそんなことなるかなと思いつつ読んでたので、違和感があるなど。それに対して生徒が問いを立てたり、話題にして、話し合うにはちょっと無理があるのかなと少し感じました。

あかつき教育図書さんは道徳では教科となる前から、柏原市では使っているの、使っているのはすごくあると思います。全般的に読み物教材、物語がすごく多いなというイメージです。道徳教材として、この教科書を使って研究テーマとしている学校がやっているの、教員が使いやすいなというのは思います。

その一方で教科書に新しい教材なんかも使っているかなと思います。見開きのところの出だしの始まりの時間の頁というのがあるのですけれども、あまり興味をひかないなと思いました。あと、QRコードは関連内容だけが載っているので、QRコードで調べてもあまりあかつき教育図書さんはメリットがないなという風に思いました。

あと、日本文教出版さんは道徳ノートがあるというところ、1年生で漫画のハイキューの村人Bの話なんかは子どもたちにも入りやすい。写真や漫画をうまく取り入れている。これも見開きは目を引くように作られているのですけれども、最初の文章はあまり興味をひかない文章だなと思いました。

あと、教育出版さん、2年生の見開きで、命のことを詩で表現しているのでも、前提が家族は必ず私のことを大切におもっているという前提なんですけれども、そうではないケースも考えられるから、引っかかる子もいるのかなと思いつつ、そこを見てました。テーマが深く、丁寧な補足が必要な文章だなと思いました。

日本教科書さんです。挿絵や写真が少ない印象を受けました。構成が同じような感じで、特に表紙の子どものイラストの絵が同じような目をしていて、表紙があまり目をひかない印象がありました。あと、3年生の66ページにある「リュウとマキ」という内容なんですけれども、彼女の話なんですけれども、中学生に考えさせる内容なのかなと思いつつ、読ませてもらいました。先ほども出てましたけれども「ウェルビーイングカード」いい面もあるのでしょうけれども、教員にとってはちょっと使いにくいかなと思いつつ、意見としてはあかつき教育図書さんが多いのでも、個人的には東京書籍の道徳の教科書が良いかなと思います。

新子教育長：はい、ありがとうございます。あかつき教育図書、光村図書、東京書籍、日本文教出版、それぞれが出ていますけれども皆さんいかがでしょうか。絞り込まなければいけませんけれども。

道徳のワークシート等で、学校で作ったりというのは、書かせようという本市の取り組みとして、書かせることに力入れようという道徳では結構ワークシート使ってたよね。でも、もう書くことよりも、今、読み取っていきこうというところに力を入れているので、そういうところから言えば、あかつき教育図書のほうは、読み物が中心というか、文字数もそうですけれども、そういうような意味ではある程度考えさせるというようなことがひとつかなと思ったりはします。

皆さんにもう一度ご意見いただいて、最終的に決めていかないといけないと思いますけれども。太田委員が言われたように、あかつき教育図書ですと来ているので、一度

変えてみるということもありかなと思いますけれども、何せ3年ですのでね。やはり、そのところは慎重にという所だと思うのですが、いかがでしょうか。

田中委員：あかつき教育図書を今まで使っていた分にさらに改善されてるということがあるので、あかつき教育図書でいいのではないかなと私は思うのですが。

新子教育長：どうでしょうか。あかつき教育図書でいいと思われる方は、挙手願えたら。

(田中委員、近藤委員、西村委員 挙手)

新子教育長：そうしましたら、あかつき教育図書でお願いいたします。ありがとうございます。以上で10教科16種目について審議を終えることができました。事務局の指導課長から、確認をお願いしたいと思います。

小室課長：はい。ありがとうございました。それでは、まず、本日の審議により採択された教科書につきまして確認いたします。まず、公民ですが教育出版株式会社。地理、株式会社帝国書院。地図、株式会社帝国書院。歴史、東京書籍株式会社。理科、株式会社新興出版社啓林館。技術、東京書籍株式会社。家庭、東京書籍株式会社。道徳、あかつき教育図書株式会社。

続きまして、先週の審議により採択された教科書の確認になります。国語、光村図書出版株式会社。書写、光村図書出版株式会社。英語、株式会社三省堂。美術、光村図書出版株式会社。保健体育、株式会社大修館書店。音楽一般の方になります、株式会社教育芸術社。同じく音楽の器楽、株式会社教育芸術社。最終、数学です。数研出版株式会社。以上で間違いはないでしょうか。

委員全員：はい。

小室課長：ありがとうございました。以上でございます。

新子教育長：それでは、議案第19号令和7年度柏原市立中学校使用教科用図書の採択については、議事を終了させていただきます。本日の議事案件は以上です。以上で第1回臨時教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員